

第4学年 算数科学習指導案

日時：令和7年2月7日（金） 13：30～14：15

対象、指導者：4年1組 ABコース 27名(丸山 麻美)

4年2組 ABコース 27名(辻 彩佳)

4年3組 CDコース 15名(齋藤 華苗子)

算数教室 CDコース 14名(藤山 美裕紀)

1 単元名「面積のくらべ方と表し方」(10時間)

2 単元の目標と評価規準

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
目 標	面積の普遍単位について理解し、それらを活用して正方形や長方形の面積が求められることやその求め方、面積の単位間を理解するとともに、面積についての量感を身につけている。	量や乗法の学習を基に、面積の意味や図形の構成要素に着目して、面積を数値化して表すことや辺の長さを用いて面積を求めることについて考え、説明している。	面積を数値化して表すことよさや身の回りのものの面積を求めたことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
A 規 準	面積を数値化するよさや、面積の単位と測定の意味がわかり、面積の求め方や単位間の関係を理解している。求積に必要な辺の長さを調べて、長方形や正方形、複合図形などの面積を、公式を使って求めることができる。	単位面積を用いて、広さを数値化する方法を考え、図や数、式を用いて表し、正方形や長方形の求積公式を導き出している。 また、辺の長さを用いた求積公式のよさに気付き広さや形に応じた求め方を考えている。長さの単位間の関係をもとに、面積の単位間の関係を考えている。	面積の大きさもほかの量と同じように、数値化して表すことよさに気付き、身の回りのいろいろな形の面積を工夫して求めようとしている。
B 規 準	面積の単位と測定の意味がわかり、面積の求め方や単位間の関係を理解している。長方形や正方形の面積を、公式を使って求めることができる。	単位面積を用いて、広さを数値化する方法を考え、図や数、式を用いて表し、正方形や長方形の求積公式を導き出している。面積の単位間の違いを考えている。	面積の大きさを数値化して表すことよさに気付き、身の回りのいろいろな形の面積を求めようとしている。

3 単元について

(1) 教材について

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年告示)にて以下のように示されている。

<p>第4学年</p> <p>A 数と計算</p> <p>(6) 数量の関係を表す式に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(イ) 公式についての考え方を理解し、公式を用いること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 問題場面の数量の關係に着目し、数量の關係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること。</p> <p>B 図形</p> <p>(4) 平面図形の面積に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 面積の単位(平方センチメートル(cm^2)、平方メートル(m^2)、平方キロメートル(km^2))について知ること。</p> <p>(イ) 正方形及び長方形の面積の計算による求め方について理解すること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えるとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との關係を考察すること。</p>
--

広さについては、第一学年で、比較する対象について直接比較や任意単位による比較を経験し、量の保存性についてもある程度理解している。

また、第2学年や第3学年では、長さ、かさ、重さなどについて、その大きさを単位を用いて数値化して比較したり測定したりすることを学習してきている。しかしながら「広さ」については、感覚的にどちらが大きいかをとらえることにとどまっており、「単位とする大きさをすきまなく敷き詰めることで正確に広さを比べることができる」という見方・考え方にはまだ至っていないと思われる。

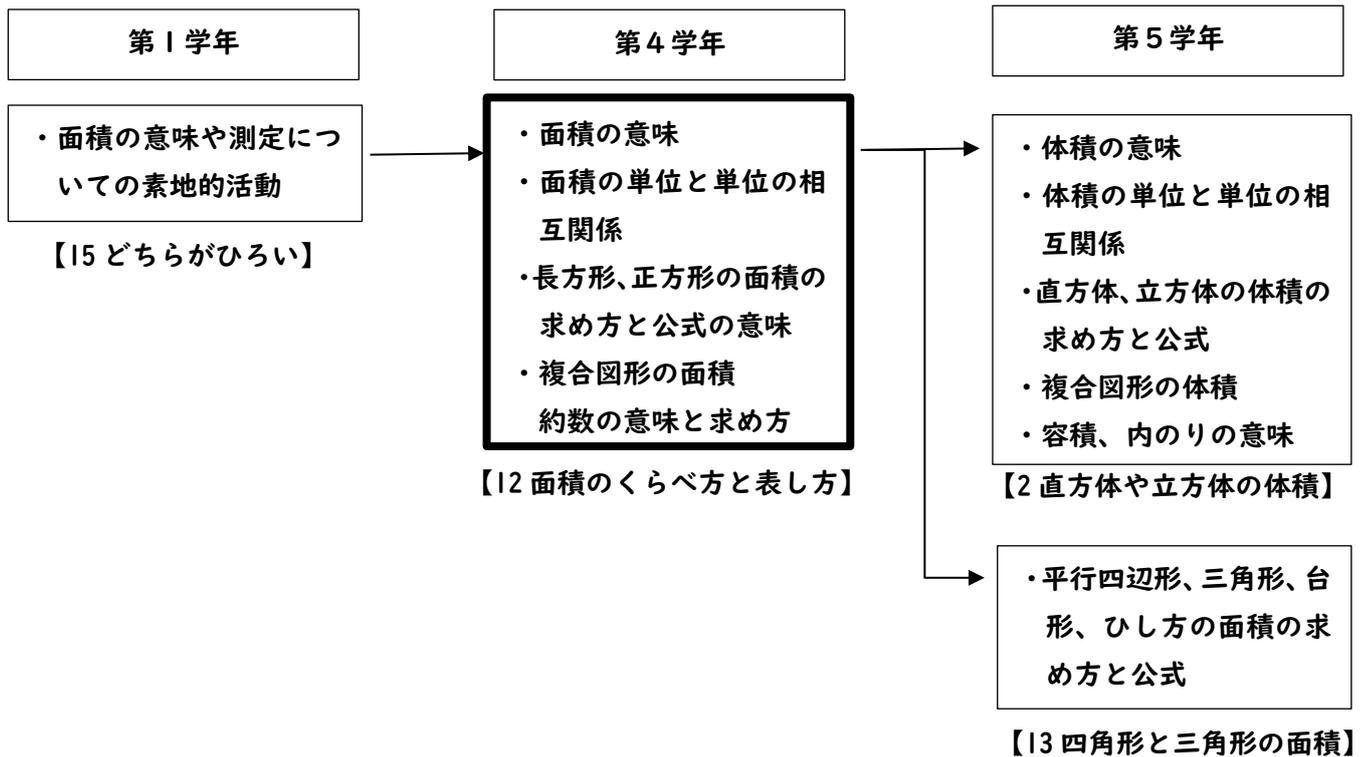
そこで、本単元では、これらの既習の量の比較や測定の考え方に着目し、広さの比べ方や測定の仕方を考え、それらを用いる力を育成する。

そのために、まず、本単元の学習を通して、広さも、単位を用いて数値化することによって、比較したり測定したりすることができるというよさに気づき、面積を新たな量としてとらえ、その比較や測定の方法について理解し、活用する力を伸ばさせていく。

次に、長方形や正方形の面積は、単位正方形が規則正しく敷き詰められている量とみて、その単位の数を乗法を用いて求めることができることに気付かせたい。具体的には、縦や横に敷き詰められる単位正方形の数は、それぞれの縦や横の辺の長さを表す数と同じであることから、長方形や正方形の辺の長さを調べ、それぞれの数を乗じて面積が求められることにも気付かせるようにする。

さらに、L字型や十字型などの複合図形の面積の求め方を考える際は、既に求積公式を学んでいる長方形や正方形が組み合わされた形とみることができると注目させ、公式を用いて面積を求められることに気付かせたい。

主な関連事項



(2) 児童の実態

第4学年は習熟度別コースを4つ（AB層が2つ、CD層が2つ）に分けている。児童は、課題に対して一生懸命に取り組もうとするが、どのように考えたらよいか分からずに固まっていることがある。そのため、学習してきたことを振り返る時間を設けることで、ノートを見返しながらか課題に取り組もうとする習慣が少しずつ身に付いてきた。また、生活経験と算数で学んだことを活かしながら考えることが難しいため、面積を計算で求められる便利さを知って「粘り強く考える」ことを目指したい。

4 研究主題に迫るための手だて

(1) 自ら考えたい問題提示の工夫

図形の周りの長さが長い方が面積が大きい、という誤認識をもつ児童が高学年でも複数見られる。あえて前時までと同じ周りの長さの形を提示し、周りの長さを比べるだけでは面積を正確にとらえられないことを感じさせたい。

また、前時までには正方形、長方形の面積の求め方を学習した。本時では、既習の形にするためにどのような工夫をすればよいかを考える。工夫すれば解ける、という数学的な楽しさを味わわせたい。

(2) 式と図を関係付けて考えるための指導の工夫

これまで、文章問題から図を描いたり、言葉で考えたり、式を立てたりと様々な問題解決の方法に取り組み、多面的に考えられるように指導をしてきた。本時の全体検討の場では、式と図を関係付けて考えられるようにしたい。そのため、ABコースでは友達の式から、どのように複合図形をとらえたのか図を使って考えさせる。CDコースでは、立式に課題があると想定されるため、まず図を使ってどのように複合図形をとらえたのかを共通認識し、みんなで式にしていく展開にする。

(3) 考えを整理させる活動設定の工夫

本時の学習のまとめについて、児童が分かったことを自分の言葉で表現しやすいよう、ペアまたは小グループ

プで話す時間を設定する。AB コースでは、複合図形の面積を求めるための共通点やキーワードを出させ、児童から出た言葉でまとめをしていく。CD コースでは、切り離してそれぞれを長方形にしてから面積を足す、大きな長方形と見ていないところを引くなど、どれか一つの面積の求め方を自分なりに説明をすることで、方法の定着を図る。

(4) 粘り強く考える児童の姿勢を認める声掛け

一つの考え方を思いついた後、別の方法で解けないか取り組んでいる児童や、図で考えたことを式で捉え直している児童の姿を取り上げて認める声掛けをし、望ましい学習への姿勢を価値付け育てていく。

5 単元の指導計画(全10時間)

時	目標	学 習 活 動	評価の観点と方法の例
(1) 広さのくらべ方と表し方			
1	[プロローグ]	①12本の直線で花壇の設計図をつくる活動を通して、広さの比べ方や表し方を考えるという単元の課題を設定する。	
2	・面積の単位「平方センチメートル(cm^2)」を知り、面積の意味について理解する。	①花壇の設計図の面積の表し方を考える。 ②「面積」の意味や面積の単位「平方センチメートル(cm^2)」について知る。 ③図の面積が 1 cm^2 であることを説明し、いろいろな形の 4 cm^2 の図形をかく。	【知】 面積の意味や面積の単位「平方センチメートル(cm^2)」について理解している。(観察・ノート) 【思】 面積の意味や 1 cm の大きさに着目し、面積の表し方や 4 cm^2 の図形のかき方を考え、説明している。(観察・ノート)
(2) 長方形と正方形の面積			
3	・長方形、正方形の面積を計算で求める方法を理解し、面積の求め方を公式にまとめることができる。	①長方形正方形の面積を計算で求める方法を考える。 ②「公式」の意味を知り、長方形、正方形の面積の公式をまとめる。	【知】 公式を用いて、長方形や正方形の面積を求めることができる。(観察・ノート) 【思】 正方形、長方形の特徴や 1 cm^2 のますの数に着目して、長方形や正方形の面積を求める公式を考え、説明している。(観察・ノート)
4		①公式を用いて、長方形や正方形の面積を求めたり、辺の長さを求めたりする。 ②測定した値を用いて、面積を求めることを確認する。 ③周りの長さが等しい長方形や正方形の面積を調べ、周りの長さが等しくても面積が異なる場合があることを知る。	

5 (本時)	(今日の深い学び) ・既習の長方形や正方形の面積を求め学習を活用して、L字型の図形の花積の求め方を考え、説明することができる。	①長方形を組み合わせた図形の花積を、分割したり、補ったりするなどのいろいろな考えで求める。 ②自分の考えと他者の考えを比較し、共通点や相点を説明する。	【思】L字型の図形がいくつかの長方形で構成されていることに着目するなど、花積の求め方を考え、説明している。(観察・ノート) 【態】図を分割したり補ったりして花積を求めたことを振り返り、学習に生かそうとしている。(観察・ノート)
(3) 大きな花積の単位			
6	・花積の単位「平方メートル(m^2)」を知り、辺の長さがmの場合も、長方形や正方形の花積の公式が適用できることを理解する。	①長方形の形をした教室と正方形の形をした理科室の花積の求め方を考える。 ②花積の単位「平方メートル(m^2)」を知る。 ③辺の長さがmで表されていても、花積の公式が使えることを確認する。 ④1 m^2 は何 cm^2 かを調べる。	【知】辺の長さがmで表された長方形や正方形の花積も、公式を用いて花積を求められることを理解している。(観察・ノート) 【思】基にする広さに着目して、大きな花積の表し方を考え、説明している。(観察・ノート)
7	・花積の単位「アール(a)」「ヘクタール(ha)」「平方キロメートル(km^2)」を知り、花積の単位の相互関係を理解する。	①1辺の長さを10mや100mにしたときの花積を考え、花積の単位「アール(a)」「ヘクタール(ha)」を知る。	【知】花積の単位「a」「ha」「 km^2 」とその相互関係を理解している。(観察・ノート) 【思】正方形の1辺の長さに着目して、1 cm^2 、100 cm^2 、1 m^2 、1a、1ha、1 km^2 の単位の相互関係を考え、説明している。
8		①町の花積を調べ、花積の単位「平方キロメートル(km^2)」を知る。 ②1 km^2 は何 m^2 になるか調べる。 ③花積の単位を表に整理し、単位の相互関係をまとめる。	(観察・ノート)
(4) 辺の長さとは積の関係			

9	<p>・ 長方形の周りの長さ と面積の関係を、 表やグラフを基に 考え、説明するこ とができる。</p>	<p>①長方形の縦の長さ と横の長さ、面積 について表にまと める。 ②縦の長さとお 面積の変わり方を 折れ線グラフに 表し、その特徴 を読み取る。</p>	<p>【思】表や折れ線 グラフに着目し て、縦の長さとお 面積の関係を考 え、説明している。 (観察・ノート) 【態】表を用い て数量関係を整 理し、折れ線グ ラフから変化の 特徴について考 察したことを振 り返り、学習に 生かそうとし ている。(観察・ ノート)</p>
まとめ			
10	<p>・ 学習内容の定着 を確認するととも に、数学的な見 方・考え方を振 り返り価値づけ る。</p>	<p>①「たしかめよ う」に取り組む。 ②「つないでい こう算数の目」 に取り組む。</p>	<p>【知】基本的な 問題を解決する ことができる。 (観察・ノート) 【思】数学的な 着眼点と考察の 対象を明らかに しながら、単元 の学習を整理し ている。(観察・ ノート) 【態】単元の学 習を振り返り、 価値づけたり、 今後の学習に生 かそうしたりし ている。(観察・ ノート)</p>

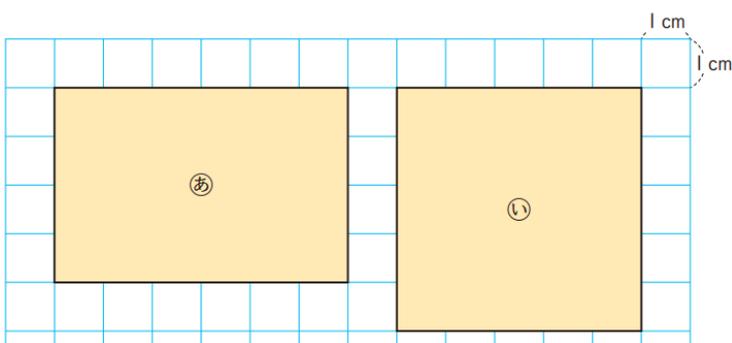
6 本時の展開(本時 5時間目/10時間)

(1) 本時の目標

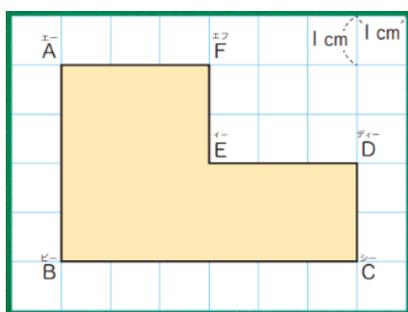
既習の長方形や正方形の面積を求める学習を活用して、L字型の図形の面積の求め方を考え、説明することができる。

	<p>●児童の学習活動 T 教師の発問 C 児童の反応</p>	<p>◇ 指導の留意点 ◆ 主題にせまる手だて ◎ 評価【観点】(方法)</p>
<p>課題 把握 3分</p>	<p>●問題を読む。</p>	<p>◇ 図形を拡大して提示する。 ◇ 導入を前の学習とつなげて行 うことで学習の流れを意識させ る。 ◆ 長さとおさが混在するので、 広さに注目するように前時とお 周りの長さを同じにする。 ◆ 導入時において以下の①②の</p>

T ㊦が 24cm^2 で、㊧が 25cm^2 でしたね。大きいのは、㊧でした。



T ㊨は、こんな形です。



C 変な形している。

C 合体したみたい。

C ガタガタしている。

C へこんだ所がある。

C 階段みたい。

C 長方形がくっついた形みたい。

T ㊨は、今までの㊦や㊧と大きさを比べるとどうですか？

C ㊦と同じだと思う。

T なぜ、そう思ったのですか？

C 周りの長さが同じだから。

T 長さだけで決めていいのでしょうか？

C 詰まってる数が違うと思う。

T 見た目だけじゃ本当に大きいかわからないね。どうすればいいかな？

C 面積を求める。

㊨の面積の求め方を考えよう。

自力
解決

●面積の求め方を考えよう。

◇ 面積の公式を必要に応じて復習する。

ような学びに向かう姿を見つけ、称賛し板書をすることで、他の児童の学びに向かう姿を促す。

【学びに向かう姿】

① 考えてみたい問題を見つける姿

② 既習の問題と解決する問題を比べ、同じところや違うところを見つける姿

【称賛の声かけの例】

T ○○さんは、昨日の問題とちがうところを見つけましたね。いいですね。

<p>12分</p>	<p>T どのようにして求められそうですか？</p> <p>C 切ったり、つなげたりすれば出来そう。</p> <p>T 工夫すれば求められるということですね。自分の考えを、言葉や図や式を使ってかきましょう。</p> <p>T 図だけでなく言葉も使って説明できているね。</p> <p>T 2つも方法を考えたんだね。</p>	<p>◇ どんな工夫ができるのか確認する。</p> <p>◇ 工夫の仕方が思いつかない児童には線が引いてあるヒントカードを教員が渡す。</p> <p>例) ・マスがかいてあるトレーシングペーパー ・1cm²のタイル</p> <p>◆ マスを数えることは「1cm²のいくつ分」という面積の最初の意味に戻ったと捉え、価値付ける。その上で、計算で求める方法を問う。</p> <p>◆ 問題の図をプリント配付することで、手元で実際に操作しながら考えることができるようにする。</p> <p>◆ 自力解決時において以下の①②のような学びに向かう姿を見つけ、称賛し板書をするすることで、他の児童の学びに向かう姿を促す。</p> <p>【学びに向かう姿】</p> <p>① ノートを振り返り、既習事項を生かそうとする姿</p> <p>C 昨日はどうやって計算したかな。前のノートを見てみよう。</p> <p>T ノートを振り返っていていいですね。</p> <p>② 一つの方法で答えを求めることができた後に考え続ける（他の方法で求めることができないうか、求めた方法で公式がつかれないか、どのような表現をしたら公式が作りやすくなるか）姿</p> <p>【称賛の声かけの例】</p> <p>T ○○さん、たくさんの考えをしているね。一つの方法だけじゃないんだね。いくつかの考えで求めてみると自信がも</p>
------------	---	---

全体
検討
15
分

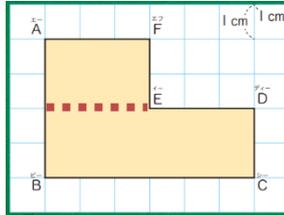
●面積の求め方を発表し、説明し合う。(ABコース 式→図)
(CDコース 図→式)

T ○○さんがどのように考えたか説明できますか。

$$\textcircled{1} \quad 2 \times 3 + 2 \times 6 = 6 + 12 \\ = 18$$

T どのように考えたのでしょうか。

C 横に切ることで、長方形が2つ
できるので、2つの長方形を作って、
面積を合わせた。



T なぜ切ったのですか？

C 長方形になって計算しやすいから。

C 公式が使えるから。

T 切って、長方形にすることで公式が使えるんですね。学んだこ
とを使おうとしていいですね。

T 名前を付けるとしたら？

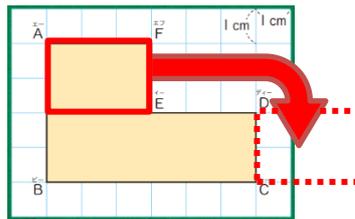
C 横切り

C ちよきちよき作戦

$$\textcircled{2} \quad 2 \times (6 + 3) = 2 \times 9 \\ = 18$$

T どのように考えたのでしょうか。

C ①の時と同じ切り方をして、でき
た四角形を横に移動させた。



T なぜ横に動かしたのですか。

C 切って動かすことで大きい長方形になるから。

C 計算が楽だから。

C 公式が使えるから。

T この方法も、切って、動かして長方形にすることで公式が使える
んですね。学んだことを使おうとしていいですね。

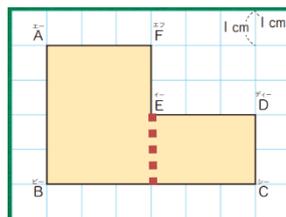
T 名前を付けるとしたら？

C 切って動かす作戦

$$\textcircled{3} \quad 4 \times 3 + 2 \times 3 = 12 + 6 \\ = 18$$

T どのように考えたのでしょうか。

C 縦に切って、長方形が2つできるので、それぞれの面積を求



てるね！

◇ 式を先に表示し、式からどのよ
うに面積を分けたのか、他の児
童に説明させる。(ABコース)

◆ 式に用いられている数字がどこ
を表しているのか、記入してい
くことで、式と図が結びつくよ
うにする。

◇ 図に線を描き入れて分け方が
視覚的に分かるようにする。

◎ L字型の図形がいくつかの長
方形で構成されていることに
着目するなど、面積の求め方
を考え、説明している。【思・
判・表】(観察・ノート)

◇ ABコースでは、

①→②→⑤→⑥ もしくは、
③→④→⑤→⑥の順に考えを
整理していく。

◇ CDコースでは、

①→②→⑥ もしくは、
③→④→⑥の順に考えを整理
していく。

時間があれば⑤の式を示し、6が
3つあるということを図から気付か
せる。

◆全体検討時において以下の①
～③のような学びに向かう姿
を見つけ、称賛し板書をするこ
とで、他の児童の学びに向かう
姿を促す。

【学びに向かう姿】

①友達の考えのよさを見つける
姿

C ○○さんの図はわかりやす
いな。

②既習事項と結びつけようとす

めて合わせた。

T なぜ切ったのですか？

C 長方形になって計算しやすいから。

C 公式が使えるから。

T 切って、長方形にすることで公式が使えるんですね。学んだことを使おうとしていいですね。

T 名前を付けるとしたら？

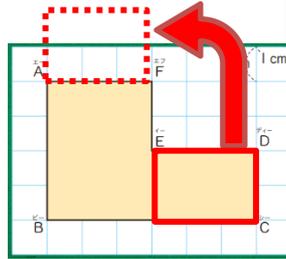
C 縦切り

C ちょきちょき作戦

$$\textcircled{4} (2+4) \times 3 = 6 \times 3 \\ = 18$$

T どのように考えたのでしょうか

C ③の時と同じ切り方をして、できた四角形を上を移動させた。



T なぜ切った後に上に動かしたのですか。

C 切って動かすことで大きい長方形になるから。

C 計算が楽だから。

C 公式が使えるから。

T 切って、動かして長方形にすることで公式が使えるんですね。学んだことを使おうとしていいですね。

T 名前を付けるとしたら？

C 切って動かす作戦

$$\textcircled{5} 2 \times 3 \times 3 = 6 \times 3 \\ = 18$$

T どのように考えたのでしょうか。

C 3等分した。

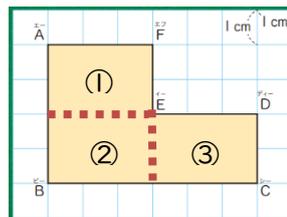
T なぜ3等分したのですか。

C 3等分することで同じ形の長方形が3つできるからです。

T 1つの長方形の面積を3倍して求めることができるんですね。公式も使って求められていますね。

T 名前を付けるとすると？

C 同じ形に3等分作戦。

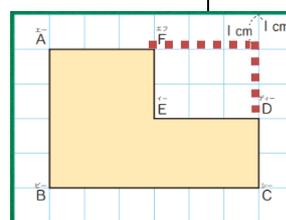


T 引き算をつかって考えた人はいますか。

$$\textcircled{6} 4 \times 6 - 2 \times 3 = 24 - 6 \\ = 18$$

T どのように考えたのでしょうか。

C 空いている部分を付け足して、大きい



る姿

C 昨日の方法と同じ考え方だ。

③よりよい考えを求める姿

C もっといい方法があるよ。

【称賛の声かけの例】

T 友達の考えのよさに気付いていいですね。よさを見つけられると次に使いそうだね。

T 同じ考え方ならセットで覚えられるね。

四角形として考えた。

T 大きい四角形にした後は、どうするのですか？

C 付け足した四角形を大きい四角形から引いた。

T なぜ大きい四角形で考えたのですか？

C 長方形になって計算しやすいから。

C 公式が使えるから。

T この方法では、長方形から長方形を引いて、考えたのですね。

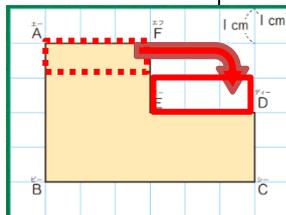
T 名前を付けるとしたら？

C 全体からとる作戦

$$\begin{aligned} \textcircled{7} \quad (4-1) \times 6 &= 3 \times 6 \\ &= 18 \end{aligned}$$

T どのように考えたのでしょうか。

C □をたて1cmだけ切って空いているところに入れて隙間をうめた。



T なぜですか。

C 入れることで長方形ができるから。

T 名前を付けるとすると？

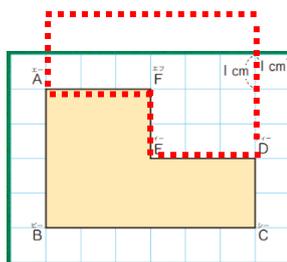
C 切って動かす作戦。

$$\begin{aligned} \textcircled{8} \quad 6 \times 6 \div 2 &= 36 \div 2 \\ &= 18 \end{aligned}$$

T どのように考えたのでしょうか。

C 同じ形を上にもう一つくっつけた。

同じ形が2つだから、それを半分に分けた。



T なぜですか。

C 大きい長方形ができるから。

T 名前を付けるとすると？

C 2つ重ねる作戦。

C 結局、 $\textcircled{7}$ の方が大きかったね。

まとめ ● 出た求め方をくらべ、共通していることを考える。

T 共通している考え方はありますか。ペアで話し合しましょう。

5分 (AB コース)

C 長方形を基にして考えている。

C 公式を使って式に表している。

T 今日の学習で分かったことや気付いたことはありますか。ペアで話し合しましょう。(CD コース)

◇ ABコースは、共通点を探すことで、まとめに繋がる言葉を探していく。

◇ CDコースは、分かったことや気付いたことを話し合うことで、複

	<p>C 工夫すればできる。</p> <p>T 工夫ってどんなことをしましたか。</p> <p>C 長方形にすればできる。</p> <p>C 分けたり、くっつけたり、動かしたりすると面積は求められた。</p>	<p>合図形の面積の求め方の確認を行う。</p> <p>◆ ペアで確認を行うことで、本時の内容の確認を行う。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>長方形ではない形の面積も、長方形の形を基にして考えれば求めることができる。</p> </div> <p>●適用問題に取り組む。</p> <p>T 自分でマス目に図形を描きます。今日の学習の内容を使って、長方形を基にして解ける問題を作りましょう。</p>	<p>◇工夫の仕方を最初に全体に問いかけ、解き方が分かるようにする。</p> <p>◇長方形にして解ける問題か児童と確認する。その中で本時の内容の確認を行う。</p> <p>◎図を分割したり補ったりして面積を求めたことを振り返り、学習に生かそうとしている。【態度】(観察・ノート)</p>
<p>振り 返り 5分</p>	<p>●振り返り 今日の学習で分かったこと、気付いたことをノートに書く。</p> <p>T 今日の㊦みたいな長方形ではない形の面積の求め方はどのように考えますか。</p> <p>C 切ったり、足したりして、長方形として考えると計算できる。</p> <p>C いろいろな方法があるけど、形によっては使えない方法もあるので、形によってやり方が変わってくる。</p>	<p>◆振り返る時に以下の①②のような学びに向かう姿を見つけ、称賛し板書をするすることで、他の児童の学びに向かう姿を促す。</p> <p>【学びに向かう姿】</p> <p>① 分かったことを振り返り次の問題を発見する姿</p> <p>C 今日は〇〇が分かったから、次は、□□を考えてみたい。</p> <p>② 日常生活でも活用しようとする姿</p> <p>C 今日のことを家でもやってみたいな。</p> <p>【称賛の声かけの例】</p> <p>T 学んだことを生かして次の問題を考えることができずばらしいですね。</p>

(2) 板書計画

2/7 (金) 13 面積のくらべ方と表し方⑤

⑤の面積の求め方を考えよう。

〈考え方〉ちぎちぎ作戦

$$\begin{aligned} & \text{式 } 2 \times 3 + 2 \times 6 \\ & = 6 + 12 \\ & = 18 \end{aligned}$$

同じ形に三等分作戦

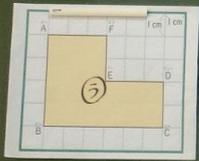
$$\begin{aligned} & \text{式 } 2 \times 3 \times 3 \\ & = 6 \times 3 \\ & = 18 \end{aligned}$$

切って動かす作戦

$$\begin{aligned} & \text{式 } 2 \times (6+3) \\ & = 2 \times 9 \\ & = 18 \end{aligned}$$

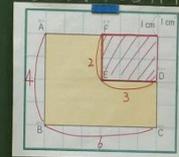
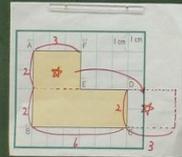
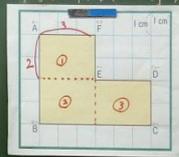
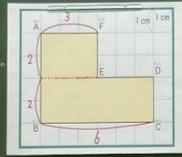
全体からとる作戦

$$\begin{aligned} & \text{式 } 4 \times 6 - 2 \times 3 \\ & = 24 - 6 \\ & = 18 \end{aligned}$$



へこんだところがある。
階段みたい

切る
つなげる



まとめ

長方形ではない形の面積も、長方形の形をもとにして考えれば、求めることができる。

⑤ 長方形をもとにして、面積を求められる図形をかきましょう。

二月七日(金) 日通

座席表
